

単元名 おおきな かぶ

1. 単元構想図

【単元のねらい】

役割読みや動作化などの音読を通して、お話の「順序」や「登場人物の行動」を読み取り、物語の場面の様子を考えたり、登場人物の気持ちを想像したりすることができる。

【本単元で働かせたい国語の見方・考え方】

場面の様子や、登場人物の行動や気持ちに沿った音読表現をすること。

知識及び技能

○語のまとまりや言葉の響き方などに気をつけて音読している。

(知識及び技能(1)ク)

思考力・表現力・判断力等

◎「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。

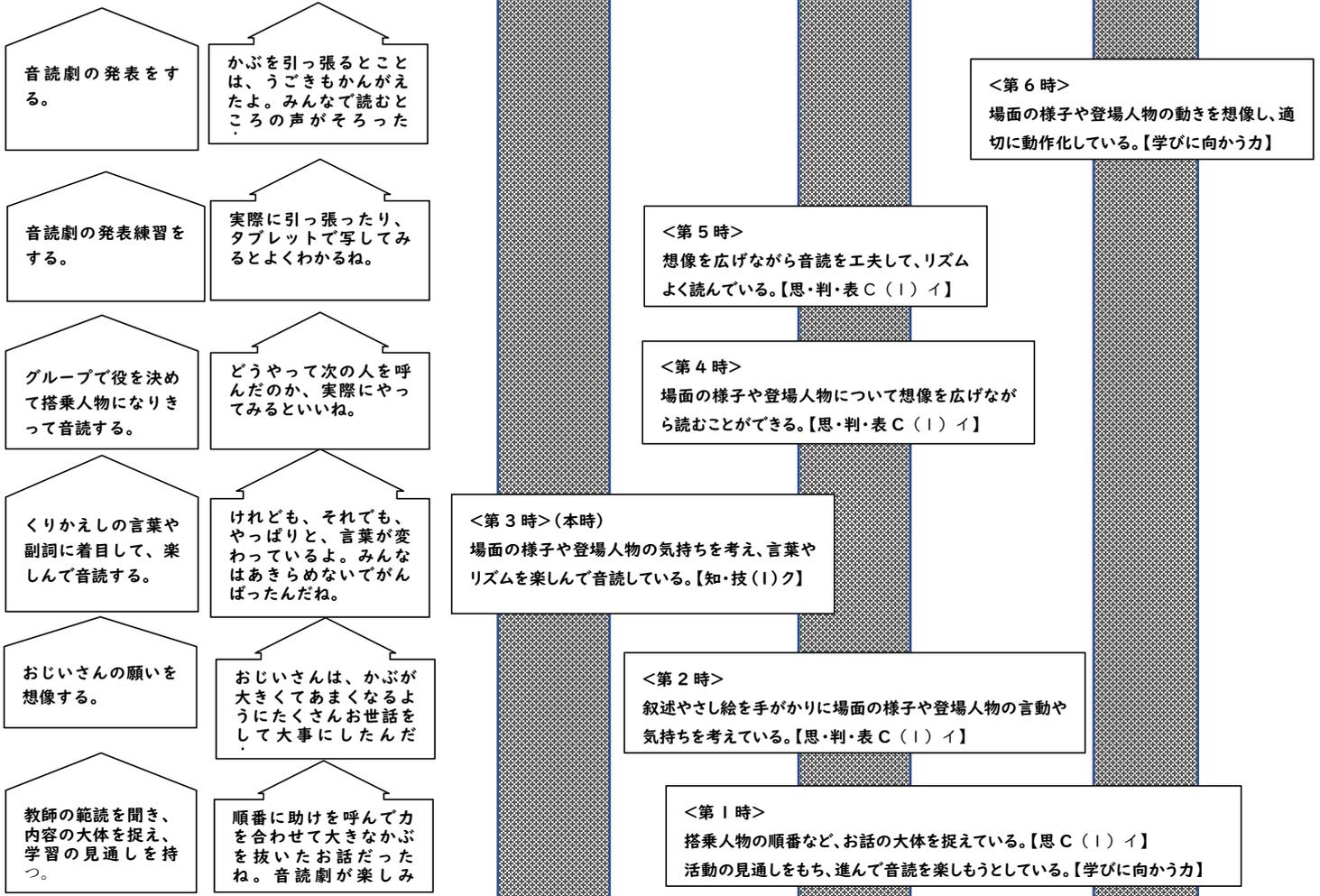
(思考力、判断力、表現力等C(1)イ)

学びに向かう力・人間性等

◎積極的に登場人物の行動を捉え、これまでの学習をいかして劇あそびをしようとしている。

単元をつらぬく課題

出てくる人になりきって、音読や劇遊びを楽しもう。



既習事項

- 「はなのみち」言葉と挿絵を結び付けながら文章を読み慣れる。音読しながら、表現のおもしろさやお話の楽しさを味わう。
- 「ぶんをつくろう」「すきなもの、なあに」主語述語などを意識して、文を読み書きする。

2. 本時のねらい

お話の中で繰り返される言葉と変わっていく言葉を手がかりに、場面の様子や登場人物の気持ちを考え、言葉やリズムを楽しんで音読することができる。(知・技(1)ク)

3. 本時の展開(3/6)

過程	学習活動 (◎教師の発問 ・児童の発言)	指導・援助
導入	<p>1. 全員で「おおきなかぶ」を音読をする。</p> <p>◎おじいさんが大切に育ててきたかぶを、みんなでぬこうとしていますね。どんなふうに抜こうとしているか確かめながら読みましょう。</p> <p>2. 繰り返し出てくる言葉を見つける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の板書を提示し、おじいさんが大切に育てたおかげで、大きく育ったことを思い出させてから、本時の学習範囲を確認しながら音読させる。
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「うんとこしょ。どっこいしょ。」は どんな よみかたを すると よいでしょう。</p> </div> <p>◎お話に繰り返し出てくる言葉は何でしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「うんとこしょ。どっこいしょ。」が何回もでてきます。 ・「～が～をひっぱって。」がでてきます。 ・「～は、～をよんできました。」がでてきます。 <p>◎この後も続くのかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人が増えるから続くよ。 ・「～をひっぱって。」がふえていきます。 ・「ぬけません。」の前の言葉がちがうよ。 <p>◎どうして前の言葉がちがうのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんばってもぬけないからです。 ・人がたくさんになってもぬけないからです。 ・かぶが大きいからです。 <p>3. 繰り返しのところの音読の工夫を考える。</p> <p>【深めの発問】</p> <p>◎「うんとこしょ。どっこいしょ」にぴったりの読み方をしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「うんとこしょ。」は力を入れて読みます。 ・みんなでそろえて読みます。 ・おじいさんやおばあさんの気持ちになって読むといいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時は前時と違い、繰り返しでつながる場面であり、繰り返し表現に着目して音読するという見通しをもたせる。【研究1】 <p>予想されるつまづきに対する手立て</p> <p>A おじいさん、かぶなど</p> <p>→ 何度も出てくる言葉であることを認める。しかし、前後の言葉も同じか確かめ、フレーズとして繰り返されているところを見付けさせる。</p> <p>B けれども、それでも、等の副詞に着目できない。</p> <p>→ 「かぶは ぬけません。」の前の部分を空欄にして板書し、言葉が違っていることに気付かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音読や動作化を多く取り入れ、表現しながら、「うんとこしょ。どっこいしょ。」の音読の工夫を見つけられるようにする。【研究2】 ・おじいさんやおばあさんや犬や猫になりきって動作化させ、気持ちも引き出させる。 ・かぶを引っ張るすべての人の気持ちになって表現する。【研究3】 ・「うんとこしょ。どっこいしょ。」の部分を、いろいろな掛け合いをして、リズムの良さを感じさせる。
終末	<p>4. 繰り返し出てくる言葉に気をつけて音読練習をする。</p> <p>◎みんなで、おじいさんやおばあさんになったつもりで音読練習をしましょう。</p> <p>◎今日の音読では、どんなことができましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「うんとこしょ。」をだんだん力を込めてよみました。 ・ぬけなかったところは、ざんねんそうに読みました。 	<p>評価規準</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>場面の様子や登場人物の気持ちを考え、言葉やリズムを楽しんで音読している。 (発言・音読)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・次からは、グループで読む練習をすることを伝え、音読への意欲を高めさせる。